

補足

コンベンションリスト適用上、問題となるかもしれない若干の事例について、競技委員会の見解を記述します。

なお、競技委員会では、競技会参加者やディレクターからの提案、疑問点等を検討し、以下のリストを整備しようと考えていますので、積極的にコンベンションリスト適用に係わる事例を当委員会宛に文書でお寄せ下さる様をお願いします。

- 1) リスト C 以下の競技会において、コンベンションリストで規定されている HCP 等の条件を満たさないハンドでオープンした場合について補足説明する。
相手方が損害を受けたとディレクターが判断した場合、コンベンション使用規制違反としてブリッジの規則第 12 条の通りスコアを調整する。
コンベンション規定違反を犯した側は手順上のペナルティを受ける場合がある。
 - (1) ウィーク 2 オープン：
オープンするスーツ (5 枚以上) と HCP の合計が 10 以上であること (Rule of 10)
 - (2) 9HCP 以下のハンドでのミニ 1NT、ウィーク 1NT オープン：
1NT オープンの取り決めの下限が 14HCP 以上の場合はサイキックとみなし、この項は適用されない
 - (3) 9HCP 以下のハンドでのフラナリー 2♦オープン：
プレジジョン 1♦、プレジジョン 2♦、3 スターを示す 2♣、2♦、強い 1♣、オープンしたスーツを含む既知の 2 スターを示す 2 レベル以上のオープン、5-4 以上のマイナーを示す 2NT 以上の NT オープンについても同じ。
 - (4) 17HCP 以上のバランスハンドを示す 2♦オープンの取り決めで 16HCP 以下のハンドでのオープン：
 - (5) HCP の幅の上限を越えたオープン：
例えばウィーク 2 オープンが 6-10HCP の取り決めの場合に、4th ハンドで 13HCP でオープンしてもコンベンション制限違反とはしない。
1NT オープン、フラナリー 2♦オープンについても同じ。
 - (6) 強い 2♣オープン：
削除
 - (7) 3 レベル以上のオープンについてはハンドの強さなどの条件はない。
 - (8) ウィーク 2 に対する 2NT レスポンスにインビテーション以上の強さがない場合で、アラートがなくこれにより相手方が損害を受けたとディレクターが判断した場合はアラート違反として処置する
 - (9) リスト B において DruryFit を取り決めているペアが、3rd ハンドのメジャーオープンで 7HCP 以下の場合にはスコアを調整する。
 - (10) 相手のオークションの妨害を主な目的とするコンベンションや合意
例：「ストロング♣に対して強さやハンドパターンに無関係にシステムチックに 1♠のオーバーコールする」「オープニングビッドにダブルがかけられたら自動的に 1♠をビッドする」など、「自分のハンドを示さない」合意や「パートナーが自分のハンドに従って行動することを禁じる」合意は許されない。
- 2) 短いスーツからナチュラル (マイナースーツは 3 枚以上、メジャースーツは 4 枚以上) にオープンし、後で長いスーツをビッドする「カナッペ」はトリートメントとする。これに対するコンベンショナル・レスポンスは各リストの規定に従う。
オープニングビッドがナチュラルでない場合は、リスト E となる。
- 3) リレーシステムはリスト C 以下の競技会で使用できない。
リレーシステムとは一方のプレイヤーが自分のハンドを示すことなく、パートナーのハンドの強さや形、絵札の位置などを尋ねるビッドを繰り返し、最終コントラクトを決定するビディングシステムをいう。
パートナーのオープニングビッドに対してすぐに 4NT などでエースまたはキーカードの数を尋ねた後に最終コントラクトをビッドした場合は、自分のハンドを示していないが、リレーシステムには該当しない。

- 4) 複数システムの併用はリスト C 以下の競技会で使用できない。
 - ・バルネラビリティによるシステムの切り替え、
 - ・オープニングビッドの位置によるシステムの切り替えなど。
- 5) セッション途中でコンベンションを変えることはできるが、システムを変えることはできない。
相手方のコンベンションカードを見てディフェンシブビッドを変えることができるが、これを相手方に伝えなければならない。これに対して相手方はシステムを変えることはできない。
- 6) 複数の意味を伝える「デュアル・メッセージ・シグナル」とは、一時点で複数の意味を伝えるものを言う。例えば、パートナーのKのリードに対して、7632のカードから3をプレイしてノンカモンし、後で2をプレイして偶数枚を示しても「複数の意味を伝えるシグナル」とはならない。(オブビアス・シフト・プリンシプル Obvious shift principle は「デュアル・メッセージ・シグナル」ではない。)
- 7) 1の代のスーツオープンに対してテイクアウトダブル (=コンベンショナルコール) が入った場合には、すべてのコンベンショナルレスポンスがリスト C で使用できる。しかし、リスト B ではテイクアウトダブルに対する低いレベルでのトランスファータイプのレスポンスの使用は認められない。
- 8) 15-17HCP の 1NT オープンの取り決めにおいて、14HCP+5 枚スーツの評価、あるいは 10 や 9 の評価などにより 1NT オープンする場合は、(14)15-17HCP と表記すること。(14)15-17HCP のときは、アラートやプリアラートを必要としない。